

Q今後の地域共生社会づくりや公益的な取り組みについて、ご意見、ご要望等ありましたらご自由にお書きください。

地域共生社会、公益的な取り組みの今後に向けて・・・

1	現在、少子高齢化や人口減少が進む中。改めてお互いが支え合い助け合いながら生活できる社会を実現することが大切であると考えます。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、実現させることが非常に困難な状況にあります。そんな今だからこそ「新しい生活様式」を踏まえて孤立することなく、「支え手」と「受け手」という関係を上手に保ちながら、地域共生社会の実現を目指していく必要があるのではないのでしょうか。（保育系）
2	地域における「ひと」「もの」「かね」「こと（情報）」といった経営資源をどう確保し、どう使っていくかを網羅的にではなく、個別の課題への対応として明確化していく必要があると思います。なお、その際「時間（とき）」という要素が重要であり、いつまででどういう状態にするのかという目的や目標が掲げられなければ参画し易くなるのではないかと思います（保育系）
3	地域共生社会を目指すためには地域の中から協力者を探していくことが大切であり、その人材を育成し、人材が自立できるようにすることを考える必要があると考えます。一連のプロセスの中に我々が一緒に関わっていくことが仕事になると考えます。（高齢系）
4	引き続き、関係機関と協力し、積極的に取り組んでいきたい。（高齢・保育系）
5	多くの時間や人的資源を投じなくてもできる小さな取り組みから始め継続していくことが重要であると考えております。（障害系）
6	小規模法人なので、公益的な取り組みを行う人的余裕が無い現状ですが、出来る限り協力はしたいと考えております。（障害系）

社協に期待したい

7	単独事業所が独自に取り組むよりも、連携を強化し、社協が中心となり取り組むことでより多くの方に認識していただけたらと思います。（高齢系）
8	市町村社協がより活動していかなければいけないと思います。（高齢・保育系）
9	地域共生社会を実現するには自治会をはじめ行政、医療、福祉、企業の人々が同じベクトルを向かないと難しい。みな理解するには地道に説明会を開いて地域ニーズを把握し、何が必要で何を求めているのか確認することから始めるのがベターだと思う。その旗を振っていただくのが各地域の社協であるとありがたいです。（高齢系）
10	地域共生社会や地域に必要とされる公益的な取り組みも種別を超えた横のつながりが大切になってきます。これらの連携や協働を引き出すために、また、持続的な結びつきをもたらす要として社会福祉協議会の存在はとても重要だと考えています。困難な案件もあるとは思いますが、今後ともよろしく願います。（高齢系）
11	上記の理由としましては、地域の相談支援事業所では既に需給のバランス（相談員の件数＜計画書作成依頼数）が崩れており、また、地域の問題を客観的に判断し、他事業所に要請する等の采配を振るうことは厳しい状況です。よって、より公益的な立場にある市町村社協にその役割を担っていただくことが、地域共生社会づくりにおいて重要なのではないかと考えた次第です。（障害系）

12	<p>取り組みが活発になるためには市町村社協が中心となって各団体、機関等をまとめ、地域の問題を一緒に考えていくような仕組みを具体的に示していただければ参加し支援していけると思います。（保育系）</p>
13	<p>伊勢崎市においては、平成30年7月に「伊勢崎市社会福祉法人連絡会準備会」というものがあつた。リストアップされた事業所は49。そのうち当日参加したのは9事業所であつた。その後、準備会が連絡会になつた話は聞いていない。それとは別に群馬県災害福祉支援ネットワークにおける施設間連携部会で伊勢崎市の同じエリアの事業所が情報交換会を行つており、その会は継続している。正直なところ、どの事業所も日々の業務を全うするので精一杯であるが、情報を共有し、地域の課題に気づき、連携することで公益的な取り組みの必要性が見えてくるのではないかと感じている。市町村社協にはそのコーディネートをする責務があるのではないだろうかと強く感じる。（障害系）</p>

行政の関与が

14	<p>まず、行政内の意思の統一と確認、そして地域共生社会への取り組みのリーダーシップの発揮。そして地域の社会資源である我々の相談事（地域づくり）の窓口の設置。（高齢系）</p>
15	<p>地域によってニーズが違ふでしょうから、地元行政担当者を含めた検討の機会が必要だと思ふ。また、運営に対する助成制度等が必要でしょう。（障害系）</p>

連携が大事

16	<p>地域共生社会は連携が必要である機関を絞ることではなく、各機関の連携が重要となると考えます。（高齢系）</p>
17	<p>公益的な取り組みにもマンパワーが必要であり、限界がある。真に支援を必要とする人に行き届いているか疑問が残る。社会福祉法人単独での取り組みは実現できないことも多く、行政や社協を中心に地域の社会福祉法人や社会資源を巻き込んだ取り組みを期待したい。（高齢系）</p>
18	<p>高齢の分野では、地域の施設とも連携をとっているが、子どもや障害の施設との連携がなかなかとれていないので、相互理解を図れるような研修やイベントを開催していきたいと思つています。（高齢系）</p>

他の事例が知りたい

19	<p>昨今、コロナ禍において、中々外に目を向けることが難しい状況ではありますが、私たちが地域社会の中で何ができるのか、何をすれば良いのか、考えていく必要はあると思つますので、逆にご教示いただけますと幸いです。（高齢系）</p>
20	<p>様々な問題や課題がある中で、対応できない内容であっても他法人の取り組みの情報を提供いただき、地域共生社会づくりにお役立ちできればと考えます。（高齢・障害系）</p>
21	<p>日々、通常業務で手一杯になり、なかなか地域のことで頭がまわっていないのが現状です。みなさんどうして活動しているのか参考にうかがえるとありがたいです。（保育系）</p>
22	<p>公益的な取り組みを積極的に実施している法人の事例をご提示ください。よろしくお願ひします。（高齢系）</p>

「ひと」、「もの」、「かね」が足りず、取り組みは厳しい

23	地域と連携しての取り組みとなると先頭に立ってまとめ役の方が必要になると思う。また、社会福祉法人として新たな公益的取り組みを実施するには、人もの金すべてが不足している。(保育系)
24	人、物、金がなければ公益的な取り組みを進めるのは難しいと感じます。全国の社会福祉法人の中でも全てにおいて余裕がある法人は一部ではないでしょうか。小規模法人は運営していただくだけで厳しいのではないのでしょうか。(高齢系)
25	地域共生社会づくりにおける公益的な取り組みはとても大切なことで、今後より協力していかなければと考える。しかし、職員採用が困難で本来なのサービスを維持することで手一杯のため、そこまで手が回らず残念ながらより積極的に協力することが難しいのが現状である。福祉人材不足の改善を人材を維持する人件費の確保が一番の課題である。(高齢・児童系)
26	実際に施設を運営していただくだけで精一杯です。(保育系)
27	資金の不足について意見申し上げます。社会福祉法人において例えば「サロン」を独自で運営したり、地域住民との交流といったイベントには必ず費用が発生します。高額ではありません。お茶を提供したり、焼き芋や菓子類です。これらは少額とはいえ、福祉の現状を鑑み負担となっています。コロナ対策のため、防災のための備蓄費用は昨年度の2倍になっています。費用補助などが求められています。最近の物品値上げ、ディスグローブ3倍、アルコール2～3倍、まずは社会福祉法人の社会資源として資金支援は必要です。(高齢系)
28	公益的な取り組みに関し、実施までもう少し時間が欲しい(障害系)

ひきこもりが多くなってきている

29	現在のところ、利用者(通所)が居住の場を求めている方が多く、グループホームを創設・開設に力を入れているところです。保護者が高齢化しているので、対応に努力しています。なかなか、公益的な取り組みを行うところまでにはいかないのが現状です。ただ、ひきこもりの方が多いことを感じ、気になっています。(障害系)
----	---

その他

30	今後大きな災害が発生した場合(昼間)、どのような支援ができ、どのような支援を受けられるのかをしっかりと想定して今後活動していきたい。(保育系)
31	各法人に任せて強制しないことが大切。当法人では実施している内容が公益的事業として期待されている事なのかわからない。実施している内容、・地場産野菜の格安販売による地域の方との交流による互いの認識・卒園児や子育て支援での問題のありそうな親子へのOB会の開催による相談(ニート、育児放棄の防止)(保育系)

コロナが・・・

32	共生社会→地域で住民の和合する場が少なくなってきたので地域の情報が解らなくなってきた。コロナ対策でさらに地域の人々が離れてきた。(保育系)
----	---

33	このままコロナのことで外に出ることが制限されるとなかなか地域との交流が難しくなると思われます。リモート等を利用しようとしても対象者が高齢では浸透するとは思えません。何か良い案があれば教えていただきたいです。（高齢系）
34	コロナ禍、集まることが困難（人材育成、居場所づくりなど不利）、地域で新たなツールをつくり、行政、教育、医療等をつなぎ、課題の共有、情報発信などにより包括的な環境がつかれないか？（ICT、アプリ等）（障害系）
35	コロナ禍で様々な取り組みに制約がかかってしましますが、zoom、SKYPEなどのオンライン会議であれば参加可能です。定期的な情報交換会ができると良いと思います。（高齢系）